

# 葉樹林通信

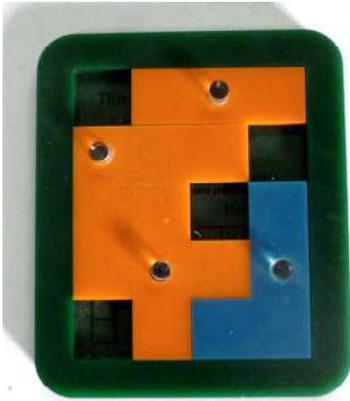
# パズル

第20号

2016年12月29日発行

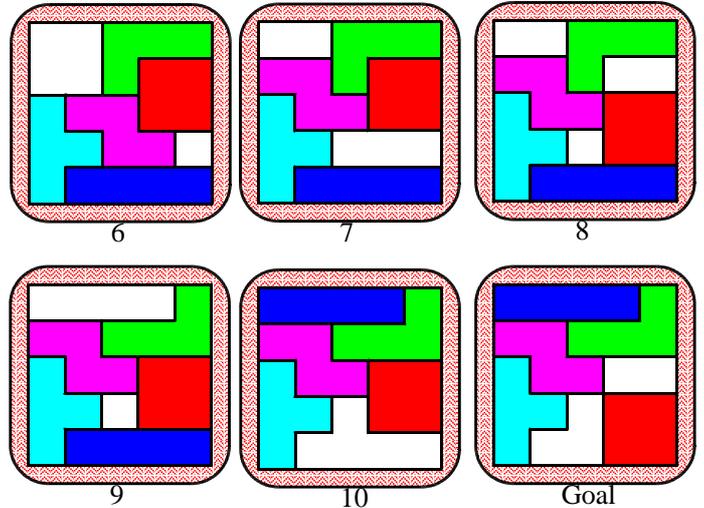
## Flying Block Puzzle

Dries De Clercq氏が発案し 友人のDirk Weber氏が紹介したパズルが これです



今までのスライディング・ブロック・パズルには なかった動き駒を持ち上げて動かすというのが斬新でした たった4ピース 4×5という狭い盤面 このパズルの目的は 水色のL型ピースを 左上の位置に動かすこと

取っ手がついていますから 当然 裏返し不可  
最短で61手かかります  
パズルに慣れている方でも 容易くはないでしょう



どうですか 簡単ですか  
最初 駒の動きに慣れるまでは 戸惑うかもしれませんね

## FLYING TETRA

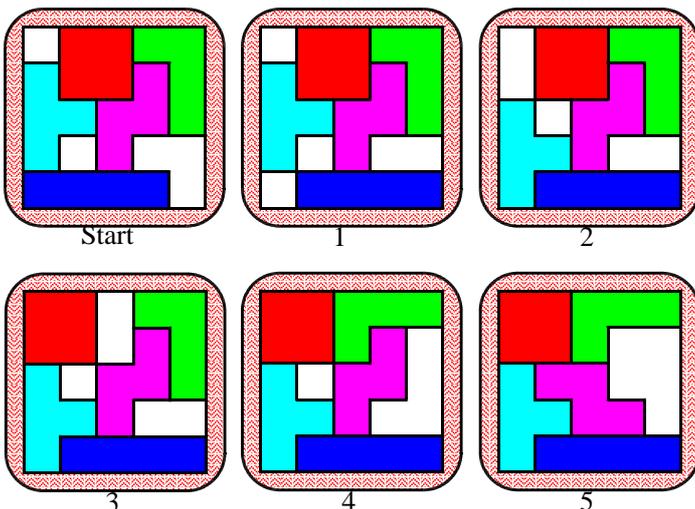
もう少し易しく手軽に遊ぶことができないかと考え まとめてみたのが FLYING TETRA

使用ピースは  
平面テトロミノ 5種  
盤面は5×5  
目的は○型ピースを  
右下の位置に置くこ  
うなもの

これにより 初期配置  
を変えることで いろ  
いろな問題が提示できます  
本家にならって ここではピースの裏返しは不可

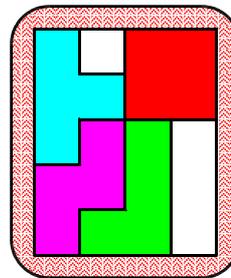


ひとつ例を示します

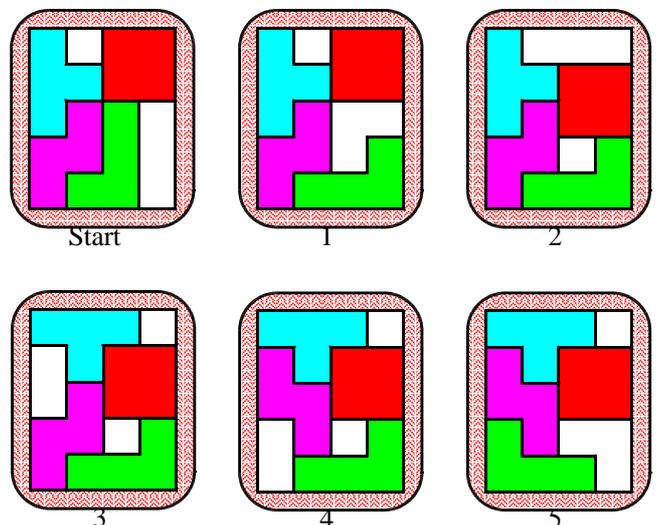


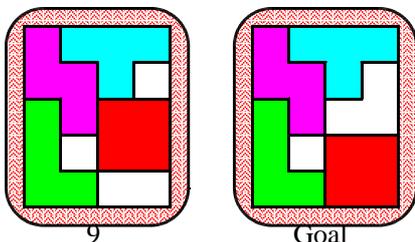
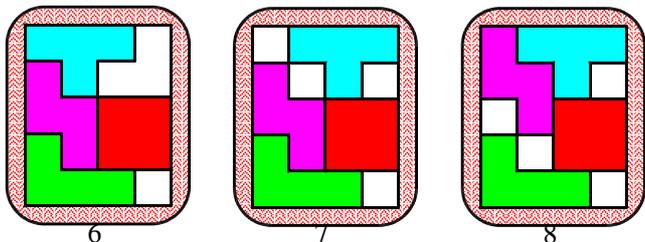
## FLYING TETRA 裏返し可

その次に考えたのが 裏返し可ではどうかということ  
使用ピースは平面テトロミノ 4種  
盤面も4×5と小さくしました 現物はまだないので  
画像で



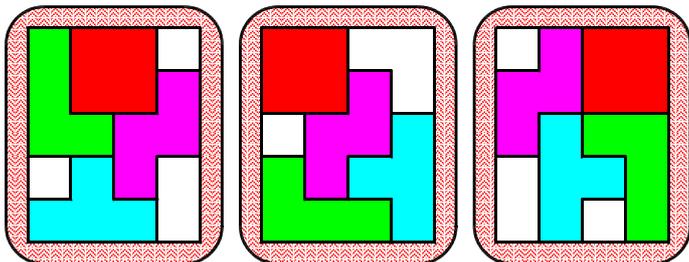
目的は○型ピースを右下の位置  
まで持って行くこと  
ピースは裏返しも可能  
盤面が小さいということは  
易くなったというより  
制約が厳しくなったということ  
のようです 解いてみましょう





どうですか  
これぐらいなら  
目で追っても  
できそうですか

では あと3問 出しておきましょう



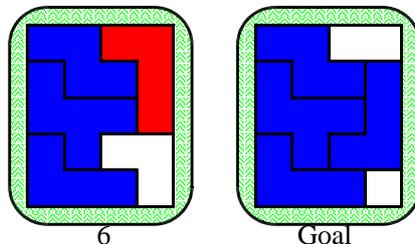
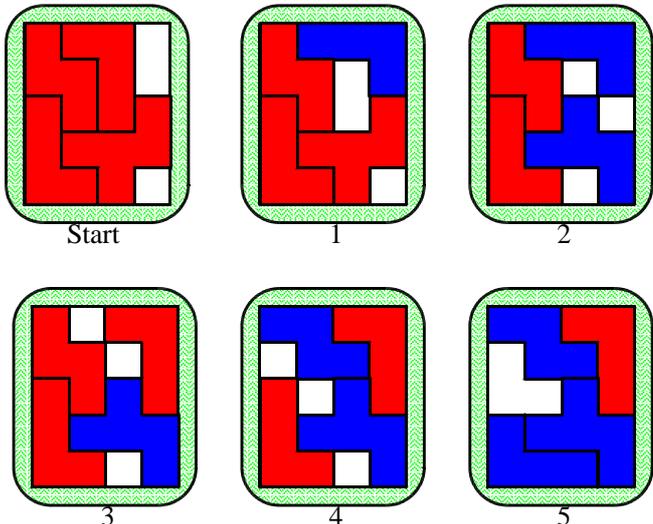
### Turn Over!

さて次はFlying Block Puzzleをベースに  
Adachi Fujio氏が考えられたのが これ



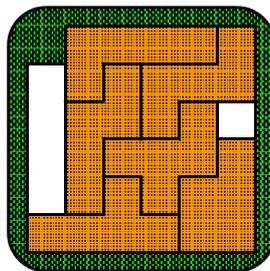
動かし方は  
Flying Block Puzzleと  
同じ  
目的は全てのピース  
を裏返すこと  
単純でわかりやすい  
目的です  
では易しいかと言うと  
それはどうでしょうか

ひとつ例示して 解いてみます



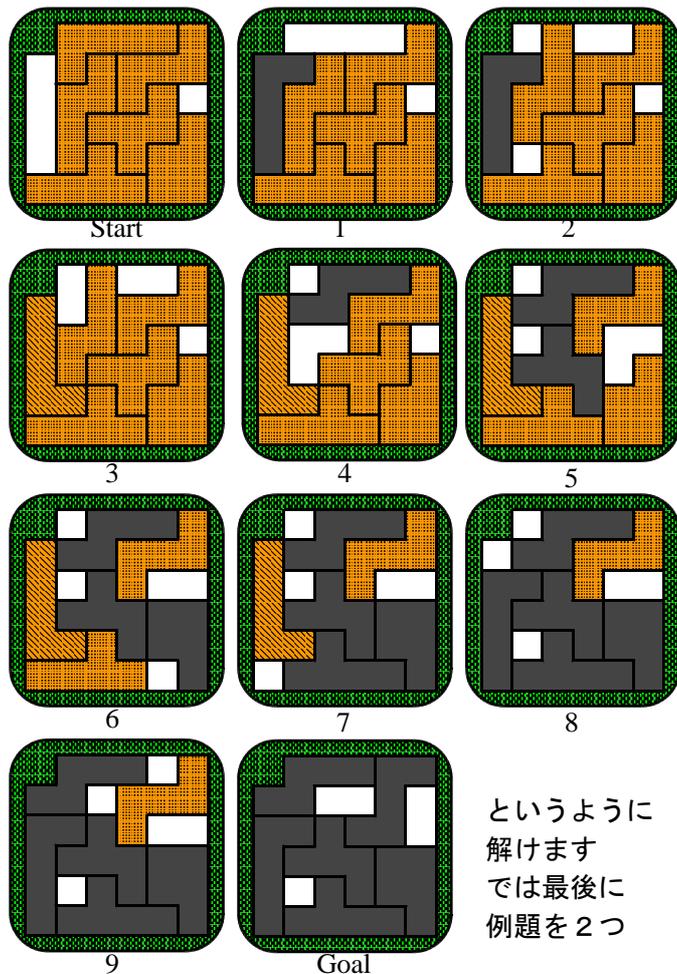
いかがですか おもしろいパズルが新たに誕生しま  
した 画像の問題もおもしろいですよ  
慣れない内は すぐに行き詰まってしまうかも

### Turn Over Pentomino



Adachi Fujio氏が考えた  
Turn Overを同じ盤面  
同じピースを使用して  
たくさんの問題ができない  
かと考えて まとめたのが  
これです

使用するピースは平面ペントミノの内 非対称の  
ピース6種 盤面は6×6の角に1単位減らした形  
目的は もちろん全ピースを裏返すこと  
やってみましょう



というように  
解けます  
では最後に  
例題を2つ

